

相談支援部会 報告書

会議名	第1回 相談支援部会		
開催日時	令和7年7月30日（水）14時00分～16時00分		
開催場所	板橋区役所 北館9階 大会議室B		
出席者数	15名（欠席2名）	傍聴者数	5名

報告事項（4件）

議題名	第10期相談支援部会の活動計画
概要	第10期相談支援部会の取組内容について報告した。
主な意見	・今期の相談支援部会については、障がい児の相談支援充実についてより協議していくため、部会員として新たに障がい児に特化した主任相談支援専門員に部会員を引き受けていただいた。 ・昨年度グループワーク形式を取り入れた部会が協議しやすかったとの声が多かったため、今期もグループワーク形式での部会の進行をしていく。 ・部会で上がった意見・課題などを協議会本会に上げていくというのを更に強化していきたい。 ・他の部会との連携という話はあるが、その次の具体的な一歩が今までできていない状況であるので、様々な切り口で部会から協議会に意見を上げていき、児童分野にも力を入れて強化していきたい。連絡会等から部会に上げられたものに何らかの形で取り組むのが大切ではないか。 ・医療的ケア児についても、実態数の把握など障がい児部会だけでなく、相談支援部会でも情報共有をしていければと思う。

議題名	基幹相談支援センター令和6年度事業報告と令和7年度の取組について
概要	基幹相談支援センター令和6年度事業報告と令和7年度の取組について報告した。
主な意見	・実務担当者連絡会で上がった地域課題については部会で報告共有しているがその次は何かしていかなければならないのではないかな。 ・医療的ケア児コーディネーターの事業が位置づけられ、その中でどのような相談ニーズがあるのかを把握していきたい。

議題名	地域生活支援拠点等の整備状況について
概要	地域生活支援拠点等の令和7年度整備状況について報告した。

主な意見	・今年度新たに相談機能を担う拠点機関が1つ増えた。 ・長く行われている、安心支援プランが1件しかないのはなぜなのか、どうしたら件数が増えるのか。 ↓ 安心支援プランがなかなか進まない理由としては、対象者を泊めてくれる事業所（短期入所等）が見つからないことが挙げられる。また、対象者の方が短期入所等の体験利用を望まないことも理由としてある。そうなれば短期入所事業所も対象者の情報がないまま緊急時に受け入れるのは危険が伴うため、受け入れるのは難しくなってしまう。このような理由で進まない状況がある。また、拠点登録してくれる事業所が少ない、これはPR不足もあると思うので、拠点運営会議の方でも進めていかなければならない。
------	--

議題名	相談支援・障がい児相談支援の充実について
概要	板橋区のセルフプラン率の状況、相談支援出張説明会の内容、実施予定について報告した。
主な意見	・数字だけを見るのではなく、利用者の状況や周辺の状況によって本当に相談支援が必要なのかというような中身の精査が必要であると感じた。 ・障がい児の相談支援の事務の効率化なども考えていけると障害児相談支援の増加の一助になるのではないかな。 ・報酬単価の低さ、事務の効率化も課題であるので、区でも何か策はないか検討していただきたい。 ・早くサービス利用をしたいためにセルフプランを選んでいる方もいる、相談支援が本当に必要な方々が見えていないという話もある。

協議事項（1件）

議題名	相談フローチャート（仮）について
概要	区内で障がいのある方、その支援者等が困った際の相談先がわかるフローチャートを作るため、実際にあった相談内容や取組などの事例を書き出した。
主な意見	【身体・知的系グループ】 ・「ワンストップの窓口」が大きなキーワードとして、そこから派生して話をした。各制度の違いや居宅介護支援と居宅介護やグループホームなどの似た言葉で違う制度のもので混乱。垣根を超えたサービスの提供はどうしたらよいのか。 ・早朝・夜間のヘルパーの確保についてもわかるとよい。 【精神系グループ】 ・横軸にライフステージ、縦軸にジャンルで分けて作成した。 ・外国人問題がすべてにかかわってきていて課題として見えた。 ・保健師の業務の幅に驚いた。 【児童系グループ】 ・横軸にライフステージで分けて作成した。 ・親からの疑問・不安だけではなく、幼稚園、保育園の先生、近所の人、年金、検査の場所はどこなど様々な意見が出た。 ・誰向けに作るかの協議も次回の部会でしていければと思う。

令和7年10月30日（木）	資料1-1
令和7年度 第2回 自立支援協議会	

今後の 方向性	・今回出した意見をもとに第2回相談支援部会にてどのようなフローチャートを完成させるか協議していく。
------------	---